

報 道 各 位

第33回船用技術フォーラムをライブ配信で開催

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、10月24日、オンラインツールによるライブ配信形式にて第33回船用技術フォーラムを開催した。

下記プログラムのとおり、第Ⅰ部では、日本財団助成事業として令和6年度に終了した新製品開発助成事業の成果発表を、第Ⅱ部では、2025年6月26日より発効したシップリサイクル条約への理解を深めるとともに、船用工業関係者に求められる対応について、関係者による講演を行った。何れも今後の市場展開並びに技術開発に資するプレゼンテーションであった。

当日は、WEBセミナーであったことから、会員企業その他、海運会社、造船所等の120社、160名以上の視聴登録があり、例年同様、多くの参加者を得ることができ、本フォーラムは成功裡に終了した。

当会としては、今後もオンライン方式の活用を含め、当会の魅力ある事業活動を広く発信していく予定。

《プログラム》

＜オープニング＞ 15：30 配信開始

- ・ご挨拶

一般社団法人 日本船用工業会
専務理事 矢頭 康彦

＜Ⅰ部：日本財団助成事業成果発表＞ 15：35～16：00

- ・ 船用次世代燃料エンジン用の無酸素下でも検知可能な水素ガス漏洩検知センサーの技術開発

理研計器株式会社
品質管理センター認証管理課 エキスパート
佐藤 裕之 氏

＜Ⅱ部：シップリサイクル条約への理解と、船用工業関係者に求められる対応＞
16：00～17：00

- ・ シップリサイクル条約の発効に伴う国内対応

一般財団法人日本海事協会
認証本部 環境部 技師
谷口 竜也 氏

- ・ 日本郵船グループにおける船舶リサイクル取り組み

日本郵船株式会社
バルク・エネルギー事業統括グループ グループ長代理
兼 製鉄原料グループ 調査役
片山 潤一 氏
企画グループ 海運政策チーム チーム長
盆子原 渉 氏

＜クロージング＞ 17：00 配信終了予定



講演①（理研計器株）



講演②（（一財）日本海事協会）



講演③（日本郵船株）